



編集・発行 三鷹市教育委員会 東京都三鷹市下連雀 9-11-7

MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から 2・3面 / 校長からのメッセージ / 三鷹市デジタル・シティズンシップに係る全学園での熟議を開催しました / 安全で快適な学校環境の整備を進めています
4面 / 令和5年度教育委員会表彰 / 中原小学校の建替えに向けた取り組みが始まります ほか

令和6年 2024.4.21

三鷹市教育委員会 ☎0422-45-1151 (市役所代表電話)

令和
6年度

教育委員会の 基本方針

2月に開催された教育委員会定例会で、令和6年度基本方針を決定しました。 ➡総務課 ☎29-9811

教育委員会は、「三鷹市教育ビジョン2022(第2次改定)」などに基づき、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を柱とした学校教育の充実により、子どもたち一人ひとりが「人間力」と「社会力」を主体的に発揮できるよう育むことを目指します。学校教育の場においては、①個人と社会の幸せ(ウェルビーイング)の実現、②一人ひとりを大切にする教育の実現、③地域の共有地「コモンズ」としての学校、「学校3部制」の推進について重点的に取り組みます。
また、「三鷹市生涯学習プラン2022(第2次改定)」に基づき、市長部局との密接な連携を図りながら、市民一人ひとりが、生涯を通して主体的に学習の機会を選択して学び、豊かな心を育み、また学んだことを地域に返し、活動に活かしていくという「学びと活動の循環」の構築を目指します。

教育委員会の
行政の基本目標

いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちづくり
創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちづくり

令和6年度の予算

令和6年度の市の一般会計の予算額は831億8,797万2千円で、教育費は107億9,748万2千円(一般会計に占める割合は13.0%)です。
事業計画に基づき、スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制の推進や国立天文台周辺のまちづくりにおける義務教育学校に関する研究などの施策に取り組むとともに、学校給食費を無償化します。

7つの施策目標

- ⑦ 地域の情報拠点としての図書館活動を推進します
- ⑥ 市長部局との連携により、生涯学習の総合的な推進を図ります
- ⑤ 地域をつなぐ拠点となる学校をつくります
- ④ 安全で快適な、充実した教育環境を整えます
- ③ 学校の経営力と教員の力量を高め、特色ある学園・学校づくりを進めます
- ② 小・中一貫した質の高い学校教育を推進します
- ① 地域とともに、協働する教育を進めます

【三鷹市教育委員会の構成】

職名	氏名	任期
教育長	かいのせ 貝ノ瀬 滋	自 令和3年10月1日 至 令和6年9月30日
教育長 職務代理者	はたや きみこ 畑谷 貴美子	自 令和2年10月16日 至 令和6年10月15日
委員	まつばら たくろう 松原 拓郎	自 令和3年5月26日 至 令和7年5月25日
委員	すどう きんいち 須藤 金一	自 令和4年10月1日 至 令和8年9月30日
委員	のむら こうし 野村 幸史	自 令和5年10月1日 至 令和9年9月30日

- 10月 ○三鷹市社会教育委員の委嘱について
●東京都市町村教育委員会連合会 第1回研修会(オンライン)
 - 学校訪問(第一中学校、第八中学校)
 - 東京都市町村教育委員会連合会 第4ブロック研修会
 - 11月 ●学校訪問(第五小学校)
 - 12月 ●学校訪問(第七小学校)
 - 教育委員会と市立小・中学校の保護者代表との教育に関する懇談会
 - 1月 ○令和6年度一般会計予算見積書
●東京都市町村教育委員会連合会 第3回理事会・第2回理事研修会
 - 学校訪問(中原小学校、高山小学校)
 - 2月 ○令和6年度基本方針の承認
●第1回総合教育会議
●東京都市町村教育委員会連合会 第2回研修会
 - 3月 ●教育委員会表彰 表彰式
(○は会議の案件、●は会議以外の活動)
- ↓総務課 ☎29-9811

教育委員会の活動について
令和5年10月〜令和6年3月の
教育委員会の主な活動



教育委員会 委員
はたや きみこ
畑谷 貴美子

三鷹の教育とコモンズ

三鷹市は全国に先駆けて「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育」に取り組んできました。コミュニティ・スクール委員会設立当初、私も地域の住民代表として関わり、学校と地域が連携しどう運営していくべきか悩みつつ、みんなで協議しながらスタートに漕ぎつけたことを時折思い出します。

現在、三鷹市では学校を核とした地域創りへの広がりを意識した取り組みを進めており、学校施設の機能活用の観点から、学校教育の場を(第1部)、多様な体験・経験ができる放課後の場を(第2部)、生涯学習・地域活動等の多様な活動の場を(第3部)として活用する「学校3部制」の推進に向けて取り組んでおります。普段子どもたちが授業を受ける学校の教室を、放課後は様々な活動や体験ができる学び・遊びの場として子どもたちの居場所として活かし、休日や夜間は地域の大人たちを含めたみんなの学びや活動の場として活用し、学校を地域みんなが集う場所、地域の共有地「コモンズ」としていく方針です。皆様の地域で活用する場を拡げて戴ければと考えております。

話は変わりますが、メジャーリーグの大谷翔平選手から「野球を楽しんでもらいたい」という熱いメッセージとともにグローブが寄贈されました。次の世代の子どもたちに夢を与えてくれるグローブの寄贈を機に野球を始めスポーツが一層盛んになることを、また願わくばこれを機としてキャッチボールの機会が増え、令和5年度体力・運動能力調査で国の平均値を下回っている「ソフトボール・ハンドボール投げ」のレベルも上がってくればと勝手ながら思っております。

子どもたちにとって地域コミュニティの中で、新たな「人間力」「社会力」を身に付け成長する機会となるよう願っています。